

「学校流域プロジェクト」の進捗状況について

1 学校流域プロジェクトについて

学校にビオトープや雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクト

2 ビオトープを活用した環境学習支援の実施状況について

5月：1校（橘小3年生・4クラス）で実施

6月：9校（久地小2年生・6クラス、梶ヶ谷小3年生・4クラス、南原小5年生・2クラス、中央支援学校・中学部2年生、久末小5年生・4クラス、久末小2年生・5クラス、上作延小5年生・3クラス、東高津小5年生・5クラス、西梶ヶ谷小3年生・3クラス、）で実施

7月：2校（新作小・動物委員会、子母口小5年生・5クラス）で実施

10月：1校（高津小自然科学委員会、坂戸小5年生・2クラス）で実施



【生きもの採取（新作小）】



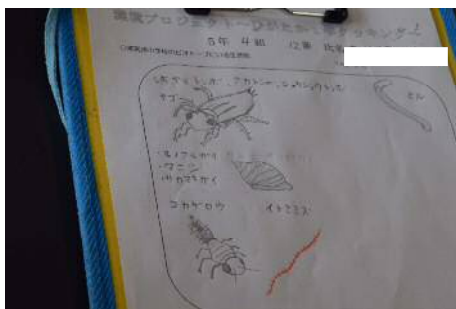
【ヤゴレスキュー（久末小）】



【蝶のビオトープ見学（子母口小）】



【生きもの解説（南原小）】



【観察記録（東高津小）】



【脱皮の瞬間（中央支援学校）】

3 ビオトープを活用した教職員向け環境学習研修会の開催について

- 日時 8月23日(水) 10時00分～11時50分
会場 子母口小学校 理科室及びビオトープ
参加人数 44人
内容 ①「エコシティたかつ」推進事業の取組説明
②ビオトープの役割と環境学習事例紹介
③ビオトープでの生きもの採取と観察・解説



【ビオトープでの生きもの採取の様子】



【生きもの観察の様子】

【アンケート結果】回答数：42人

1. ビオトープを活用した学習を実施したことがありますか。

ある 21人 ない 21人

2. 研修内容は、授業や環境学習などで役に立ちそうですか。

役に立ちそう 42人 あまり役に立たなそう 0人

3. 今後取り上げてほしい内容、感想など。

- ・子どもたちが観察する上でのポイントとなる点など教えていただきたい。
- ・生きものを増やすために、どのように整備すればよいか教えていただきたい。
- ・季節ごとの管理方法があれば教えていただきたい。
- ・ゼロからビオトープを作るときのやり方を知りたい。
- ・微生物についても取り上げてもらいたい。
- ・ヤゴの種類が多さ、形にもいろいろと特徴があることが分かり、子どもの質問にも対応できそうです。また、実際に生きものを採取することで、子どもと一緒にできそう。
- ・テレビを使って、細かい部分まで観察できるのは良い方法だと感じました。
- ・生きものの成長過程をまとめた映像があると、より興味が湧き、授業に使えると思いました。
- ・学校ビオトープにいる生きものと、近隣の自然にいる生きものとの比較などが分かると、もっと勉強になると思いました。
- ・各校1名以上参加すると、情報交換もできて良いと思いました。 など